

「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修 令和7年度 第2期

「指揮統制」コース（上級管理）

【各講義の内容と学習目標】

オンデマンド講義：(1回目)R7年9月16日（火）～ 10月19日（日）
 (2回目)R7年10月6日（月）～ 11月9日（日）
 対面演習：(1回目)R7年10月9日（木）
 (2回目)R7年10月30日（木）

形式	単元№	単元名	単元の概要	講義№	時間	動画時間		講師	学習目標
オンデマンド	講義	0	コース紹介	0	2分	2分			
		1	指揮統制総論 (世界標準に即した指揮統制)	1-1	59分	1分	学習項目	林 春男 (京都大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機対応組織のリーダーが果たすべき責務について説明できる。 ・ 危機にあたって組織のリーダーが行う業務について説明できる。 ・ 効果的な危機対応を可能にする指揮統制の世界標準について説明できる。 ・ 危機対応の世界標準を支える4本柱について説明できる。
						13分	指揮・統制とは		
						13分			
						14分			
						13分			
						5分	ふりかえり		
		2	世界標準に則した災害対策を 実現するための留意点	1-2	39分	15分	世界標準に即した	林 春男 (京都大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対応でやるべきことについて説明できる。 ・ 効果的な災害対応を実現するために市町村がはたすべき役割について説明できる。 ・ Incident Command System (ICS) を基本とする組織編制・運営について説明できる。 ・ 災害対策本部の活動の流れについて説明できる。 ・ 災害対策本部の2つの主な役割について説明できる。
						18分	災害対応体制の構築		
						6分			
				2-1	32分	10分	災害対策本部の		
						22分	活動のあり方		
				2-2	31分	1分	学習項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を把握できる ・ 世界標準に即した災害対応業務が5つの役割で構成されていることを理解できる ・ 市町村が中心になって活躍する災害対応業務6＋1を理解できる ・ 平時の業務を世界標準に即して災害対応業務に変換することができる（ICS準拠）
						4分	平時体制から災害対応		
						9分	業務にどう変換するか		
						8分			
		3	指揮統制の世界標準 (危機対応に必要な役割(部門)と機能)	3	39分	5分	ふりかえり	秋富 慎司 (日本医師会 総合政策研究機構)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Incident Command Systemの役割と機能について説明できる。 ・ 部門別における目的と責務について説明できる。 ・ PlanningのPとIncident Action Planについて説明できる。
						16分	学習項目		
		4	指揮統制の現状	4	29分	14分	学習項目	熊本県人吉市(松岡 隼人) ※林 春男(解説)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
						4分	ふりかえり		
		5	日本社会に適した指揮統制のあり方 (危機対応組織を動かすための14の原則)	5	48分	1分	学習項目	林 春男 (京都大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界標準に即した危機対応で活用されるICSの14の基本原則を理解する ・ あらゆる種類や規模の危機に対応可能にするオールハザードアプローチについて理解する ・ どのような危機にも対応できる組織とするために考慮すべきことを知る ・ 危機対応組織における指揮統制を効果的に実現するために考慮すべきことを知る ・ 危機対応を効果的に推進する前提条件として考慮すべきことを知る
						2分			
						4分			
						8分			
オンデマンド	講義	6	リーダーシップのあり方	6	56分	16分	ふりかえり	林 春男 (京都大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神・淡路大震災における応急対応から復興の現場で「その場を仕切れる人」について説明できる。 ・ リーダーシップ理論の変遷について説明できる。 ・ John Adairの行動中心型リーダーシップ理論について説明できる。 ・ 行動中心型リーダーシップ理論について説明できる。
						8分			
						15分			
						13分			
		7	参謀にとつての災害対策本部運営	7	68分	9分	ふりかえり	越野 修三 (元 岩手県防災危機管理監)	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ危機対応がうまくいかないかについて説明できる。 ・ 災害対策本部の役割と課題について説明できる。 ・ 機能的な災害対策本部運営について説明できる。 ・ 情報処理と状況判断について説明できる。
						1分	学習項目		
						16分			
						18分			
						13分			
						15分			
対面	演習	8	災害広報	8	61分	5分	ふりかえり	高島 哲夫(元 防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の行政機関による広報の内容・方法を説明できる。 ・ 災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。 ・ 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。
						22分	行政の視点		
		8	災害広報（記者会見演習）	8	120分	30分	災害時のメディア対応	木戸 崇之(エービーシー・リブラ)	
						9分	演習説明	辻岡 綾(防災科学技術研究所)	
		9	全体討論	9	75分			高島 哲夫(元 防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。
								木戸 崇之(エービーシー・リブラ)	
								辻岡 綾(防災科学技術研究所)	
								林 春男(京都大学)	